

神戸市の屋外公共空間での異常高温対策としてソーラーウェイを設置しました

夏季の道路・公園などの屋外公共空間での暑さ対策の一環として、神戸市と神戸市立工業高等専門学校（以下、神戸高専）が研究を進めているクールベンチへの電力供給として、当社の舗装型太陽光パネル「ソーラーウェイ」を設置いたしました。

7月25日（火曜）より、東遊園地花時計前において、ソーラーウェイによるクールベンチの実証実験を開始いたしますので、お知らせします。

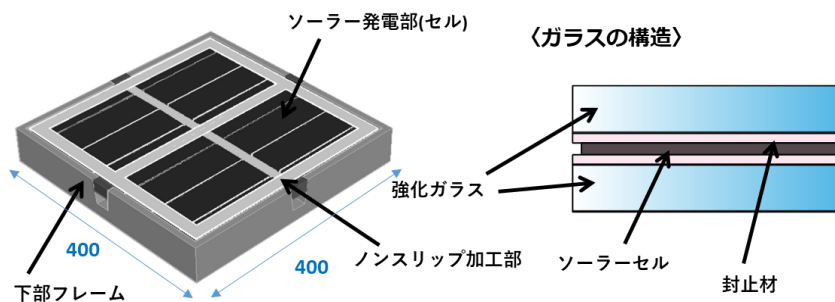
1. ソーラーウェイとは

現在、限られた道路空間を有効活用するため、太陽電池を組み込んだ道路舗装システムの技術開発、活用が国内外で進められています。

弊社は、約7年前より舗装型太陽光パネル「ソーラーウェイ」の開発に取り組み、実証実験を行ってきました。今後さらに再生可能エネルギーの活用が求められる中、省スペースで設置できるソーラーウェイの活躍の場が増えつつあります。

昨年には、舞洲にて行われていたEXPO2025実証実験に参加いたしました。今回の東遊園地での実証実験の成果を踏まえ、EXPO2025本会場内への設置に向けて、取り組んでいます。

【ソーラーウェイの構造】



EXPO2025実証実験に参加

【ソーラーウェイの主な特徴】

- ① ガラス表面はノンスリップ加工になっているので、雨の日でもすべりにくい
- ② その場所で必要な電気を、その場所で作るがコンセプト
- ③ 路面に設置するので、景観を損なわず、環境にも配慮した構造
- ④ 10tダンプの走行試験済。大型車にも耐えられる強度がある
- ⑤ 表面が強化ガラスなので、傷がつきにくく、長い期間同じ発電量を保つことが可能

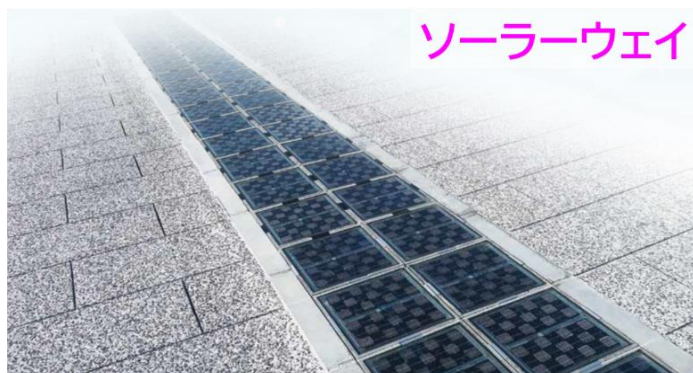
2. 実証実験の概要

クールベンチとは、夏期の異常高温対策の一環としてペルチェ素子^(注)を利用して座面を冷却するベンチです。弊社はクールベンチの商品化に向けた共同研究に参加しております。クールベンチの座面の冷却には電力が必要なため、その電力供給として、ソーラーウェイを設置し、完全自家消費で電気を賄っています。

クールベンチ1基（2名掛け）＋ソーラーウェイ（40cm×40cm×54枚・約9㎡）



電力供給



(注) 直流電源を流すことで一面が冷却し、反対面が発熱する板状の半導体熱電素子

3. 試験期間

2023年7月25日（火曜）～9月下旬（予定）

※ 引き続き冬季にホットベンチの実証実験を計画中

4. 設置場所

神戸市中央区加納町6丁目1

東遊園地花時計前



5. 早水電機工業について

創業79年になる神戸の電気工事会社です。平成28年9月に中電工（広島市中区）の100%子会社になりました。電気工事を主に、LED関連、ソーラー関連の商品開発、製造を行っています。

代表取締役：寺西 範昭 所在地：神戸市長田区海運町2丁目5-11

設立：昭和33年11月（創業 昭和20年11月） ホームページ：<https://www.hayamizudenki.co.jp/>

6. 本件に関する問い合わせ先

早水電機工業株式会社 技術営業部 担当：吉田 由加理

TEL：078-731-9301 Eメール：y_furusu@hayamizudenki.co.jp

7. 現地取材対応

現地にて技術情報の説明等を希望される場合は、事前に下記までお問合せください。

早水電機工業 担当：吉田（078-731-9301、平日9時～17時受付）